

近鉄名古屋線連続立体交差事業に伴う、下り線（四日市方面行き）の高架運行開始と近鉄八田駅の一部移転について

名古屋市と近畿日本鉄道株及び東海旅客鉄道株が実施している近鉄名古屋線・JR関西本線連続立体交差事業（黄金～庄内川）のうち、近鉄名古屋線の高架工事が進み、下り線が8月31日（土）の始発から高架にて運行を開始します。今回の高架運行開始に併せて近鉄八田駅の下り線の駅のみ名古屋駅方向へ約200m移転します。同時に烏森駅の下りホームも高架にて供用を開始します。

記

1. 趣 旨

当連続立体交差事業は、近鉄名古屋線とJR関西本線で合わせて15箇所の踏切を取り除き、高架化に併せて都市計画道路高畑町線などを整備し、渋滞や地域分断の解消等を図ります。

今回、下り線を高架で運行開始します。これにより、現在7箇所ある踏切の遮断時間は短くなります。上り線（名古屋方面行き）は引き続き工事を実施します。

なお、近鉄八田駅は、乗り換えの利便性向上のため、地下鉄八田駅付近に移設し総合駅化を図りますが、今回は下り線の駅のみが移転します。そのため、上り線が高架に切替わるまでの間、上りと下りの駅が分かれて供用します。

2. 日 時

近鉄下り線高架運転開始：平成14年 8月31日（土） 始発列車から

切替作業：平成14年 8月30日（金） 22時頃～

（切替作業日時が悪天候の時は、順延する場合あり）

3. 事業概要

近鉄名古屋線連続立体交差事業

事業区間：中川区富田町大字前田～中村区黄金通8丁目 約3.4km

事業費：総額 約470億円

完成年度：平成17年度（予定）

近鉄八田駅：（計画）2面4線（島式ホーム）

（今回）1面2線

下り線の駅のみ都市計画道路高畑町線東側に移転し供用開始

烏森駅：（計画）2面2線（相対式ホーム）

（今回）1面1線

下り線のみ高架ホームの供用開始（計画上り線ホームを仮使用）

近鉄名古屋線・JR関西本線連続立体交差事業 概要図

近鉄名古屋線事業区間 約3.4 km

